

島根県出雲地区
建設業協会
青年部会 会報誌

27号
2025.03

発行人／一般社団法人島根県
出雲地区建設業協会青年部会

青

S E I U N

雲

巻頭言

乙

巳

(きのとみ)

次世代建設就業者育成事業
令和6年度事業報告



青雲

題 字

元島根県知事 澄田信義 氏



「受け継ぐモノ」

私たちの身の回りには、さまざまな道路や建物など、工作物があふれています。
しかし、老朽化や生活環境の変化に伴い、新しいモノへと造りかえる必要があります。
我々建設業は、古くなったモノを造りかえ、新しいモノを造り、
それを次の世代へと受け継ぐことを仕事としています。
青年部会においても、先輩たちが創りあげてきたモノを踏襲しつつ、
さらによりモノとして後世に受け継ぐことができるよう、
これからも努力していきたいと思います。

一般社団法人

島根県出雲地区建設業協会青年部会 総務広報委員会

青雲 27

MAR. 2025 VOL.27
CONTENTS

【巻頭言】

1 乙巳（きのとみ）

一般社団法人島根県出雲地区建設業協会青年部会 部会長 中筋 元尚

【次世代建設就業者育成事業】

- 2 次世代建設就業者育成事業の背景と目的／現場見学会・意見交換会の概要
- 3 現場見学会の様子
- 4 意見交換会／建設機械搭乗体験
- 5 現場見学会に参加して(出雲農林高等学校参加生徒の感想)
- 6 現場見学会に参加して(出雲農林高等学校参加生徒の感想)
- 7 アンケート結果
- 8 次世代建設就業者育成事業(現場見学会)を実施して感じる事(考察)
経営研究委員会 委員長 (株)フクダ 福田 佳典
- 9 出雲農林高等学校(環境科学科)中学生一日体験入学支援事業
経営研究委員会 委員 (有)山崎組 福島 莉緒

【令和6年度事業報告】

- | | |
|-------------------------------|----------------------------|
| 10 第25回ふるさとまるごとクリーンアップ作戦 | 地域貢献委員会 副委員長 (株)小畑建設 小畑 健治 |
| 11 意見交換会2024 | 会員交流委員会 委員 (株)今岡興産 日野 肇 |
| 12 「2024土木の日」～のぞいてみようどぼくのせかい～ | 地域貢献委員会 委員長 大福工業(株) 福代 忠 |
| 13 しまね建設産業イメージアップ女子会 | しまね建設産業イメージアップ女子会 会長 川井 香織 |
| 14 歴代部会長／編集後記 | 総務広報委員会 副委員長 (有)西工務店 西 純平 |
| 15 会員名簿 | |

乙巳（きのとみ）

Kinotomi

一般社団法人
島根県出雲地区建設業協会青年部会
部会長 中筋元尚



令和の時代を迎え、はや6年が過ぎました。東京オリンピックでのメダルラッシュ、大谷選手の2年連続 MVP、或いは円安の続伸、新型コロナウイルスの感染拡大、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルのガザ侵攻、など多くの出来事がありました。

災害の面からみると、去年は元日に能登半島地震、9月には奥能登豪雨が発生し、今でも多くの方が避難所生活を余儀なくされています。また出雲市では7月9日の大雨により県道29号大社日御碕線が崩落して車両が通れず、日御碕地区は一時的に陸の孤島と化しました。仮復旧が進み12月には大型車両が通行可能にはなりましたが、本復旧はまだ先のことになります。日本全体でみれば、毎日の様に地震が発生し、大雨、台風による水害も毎年どこかで発生しております。

私たち建設業は社会資本の整備と維持管理だけを生業としているわけではなく、「地域の守り手」として災害時には最前線で災害対応を担い、同時に地域経済と雇用にも大きく寄与し、地方創生の重要な役割も果たしています。しかし2024年には時間外労働の上限規制が建設業にも適用され、また出生数も73万人を割れるなど、建設業の将来の担い手が減少することが予見されております。建設業界も「新3K（給与がよい・休暇が取れる・希望がもてる）」やDX等を前面に魅力ある産業というイメージを打ち出すことで、働き手を確保する取組に力を入れています。

我々青年部会でも、次世代建設就業者育成事業の一環として、建設重機への搭乗体験、高校生の現場見学会、「土木の日」イベント、クリーンアップなど、1年を通して多くの事業を行っておりますが、今後は更に若年層への魅力発信の活動にも力を入れていきたいと考えております。そして青年部会のメンバー全員が「新3K」を実感し、建設業の将来を信じた上で活動することが重要であることを理解しています。

最後になりますが、島根県出雲地区建設業協会青年部会は多くの方のご協力の下に成り立っていることに改めまして感謝申し上げます。また2025年の干支は「乙巳（きのとみ）」で「今まで積み重ねてきた努力が実を結ぶ」年になるといわれております。青年部会の先輩諸兄姉と現会員の築き上げてきた活動が実を結ぶことを祈念し、引き続き青年部会の発展と建設業の未来に向けて尽力して参りますので、皆様のご支援とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

次世代建設就業者育成事業

次世代建設就業者育成事業の背景と目的

建設業は国民の生活基盤である住宅・インフラ整備、安全安心な国土の保全・整備、経済活動の基盤となる施設の整備等を行う役割を担っています。また、災害時においてはその保有する人材、資材、機材を活用し迅速に対応して、地域社会の復旧・復興に貢献します。本年度も7月豪雨によって市内の県道が崩落した際には、応急対策や仮設迂回道路の設置など、地域の安全・安心を守るという使命感、責任感を持って活動し、その役割は非常に大きなものであることを再認識しました。

このように建設業は地域になくてはならない産業で、多くの使命を担うかつこよさややりがい、楽しさを高校生に体験してもらいたい、また働き方改革や最新の技術の発展により働きやすくなった業界であることを知ってもらいたいと思い、出雲農林高等学校の生徒に向けて現場見学会を実施いたしました。青年部会としてはこの見学会を通じて一人でも多くの生徒が建設業に興味を持ち、就職したいと思ってもらえる契機となるべく実施をしております。

現場見学会・意見交換会の概要

- 学校名 出雲農林高等学校
- 開催日 令和6年10月22日(火)
- 参加者 出雲農林高等学校 2年生38名 教員2名

9:15～12:15	●現場見学会 ①神門通り線(2工区)防安交付金(街路)工事第11期 発注者 島根県出雲県土整備事務所 受注者 株式会社 中筋組 施工場所 出雲市大社町修理免～大社町杵築南地内 ②(仮称)出雲市新工業団地(斐川)造成工事 発注者 出雲市 受注者 フクダ・ヒカワ工業特定建設工事共同企業体 施工場所 出雲市斐川町直江地内 ○主な内容 ・発注者担当者より事業概要説明 ・先進技術を用いた測量技術の紹介 ・受注業者担当者による工事概要説明 ・AR体験
12:30～13:30	昼食・休憩
13:30～14:00	●意見交換会 ○実施場所 斐川第2体育館 ○内容 ・グループワーク 事前アンケートを基に、主に「建設業のやりがい」をテーマとして出雲地区建設業協会青年部会、しまね建設産業イメージアップ女子会メンバーと意見交換
14:20～16:00	●建設機械搭乗体験 ○実施場所 (仮称)出雲市新工業団地(斐川)造成工事現場 ○内容 ・建設機械搭乗体験(株式会社板倉重機 協力) ・しまね建設産業イメージアップ女子会活動説明 バックホウ0.7m ³ 2台 1.8m ³ 1台 ・ブース展示 アーティキュレートダンプ 2台 タイヤローラー 1台

現場見学会

神門通り線(2工区)防安交付金(街路)工事第11期



出雲県土整備事務所様から事業概要の説明



工事概要の説明



説明を受けながらAR体験をしている様子



工事現場に入って説明を受けている様子

(仮称)出雲市新工業団地(斐川)造成工事



出雲市役所様から事業概要の説明



工事概要の説明



造成現場見学の様子

意見交換会



中筋部会長 挨拶



全体の様子



アンケート結果の公表



グループに分かれて意見交換

建設機械搭乗体験



重機をバックに集合写真



搭乗体験の様子



オペレーターの方に教わりながら操縦



真剣にダンプを操縦

現場見学会に参加して

島根県立出雲農林高等学校

環境科学科2年 磯辺 波琉



現場見学当日は、あいにくの雨で様々な体験が制限される事になりました。

宇迦橋の工事現場では先進技術を駆使して測量を行ったり、3Dを用いて設計したりと便利で初めての人にもわかりやすい機械がありました。私が一番印象に残ったのは、自動追尾型のトータルステーションです。従来複数人で行う測量が一人でできるということで興味深く思いました。ミラーを持っておけば設定したとおりにトータルステーションが動いてくれるので自動で測量してくれるという機械でした。人の手を省くことでその分、他の仕事を進めることができるので作業の効率化や人件費の削減につながるよいシステムだと思いました。

続いて、株式会社フクダさんとヒカワ工業株式会社さんが共同で進める工事現場に行きました。一番に目に入ったのは広大な敷地でした。バックホウや大型のダンプ、大型のブルドーザーなど規格が全て大きいという印象でした。ダンプとバックホウの搭乗体験をしました。ダンプはタイヤの大きさが2メートルくらいあり運転席に座ってみると目線が非常に高かったです。見晴らしはいいのですが足元が見えないので怖いと思いました。バックホウはアームの旋回や伸縮、バケットの上げ下げをしました。私はバックホウを動かすのは人生で2回目で、不慣れなので、アームを動かすたびに運転席が揺れてビクビクしながら操作しました。現場で経験を積んで乗りこなせるようになりたいと思いました。

意見交換会では、建設業の現状や給料の話などなかなか聞けない貴重な話を聞くことができました。私が仕事をしていて「きつい、大変」と思ったことはと質問すると、仕事になれるまでと答えてくださいました。私も高校に入学した当初は毎日とても疲れていたという経験があるので共感しました。給料面では初任給もそこそこ高いし、勤務年数によって給料が上がっていく、資格取得によっても上がるとのことでした。今回の現場見学をとおして建設業に対する魅力が深まったように感じました。将来を意識して資格取得にチャレンジしていきたいと思います。

現場見学会に参加して

島根県立出雲農林高等学校
環境科学科2年 川上 竜矢



私は、今回の現場見学で印象に残ったことが3つあります。

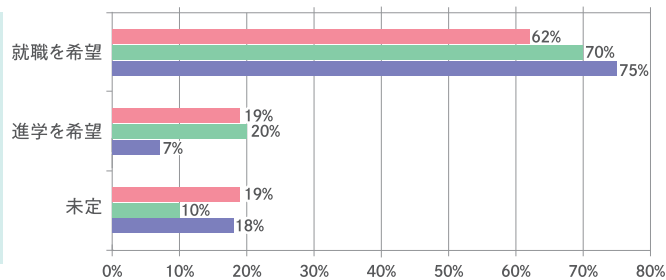
1つ目は午前中に見学した宇迦橋の老朽化にともなう付け替え工事です。出雲大社に行くことも多いので、この工事は以前から知っていましたが、工事の内容や工事を詳しく見ることがなかったので、今回の見学でより詳しく知ることができました。また、担当者の方がとてもわかりやすく教えてくださったので、次に通る機会があれば説明されたことを思い出しなが見たいと思いました。

2つ目は午後に行った重機の搭乗体験です。僕達が体験させてもらった重機はとても大型でどれも操作が難しかったですが、操縦していてとても面白かったです。インターンシップでも操縦することができ、ますます建設業への興味が湧きました。また、説明の中で大型重機の資格を高校のうちに取得しておけば将来役にたつとおっしゃられていたので、勉強を頑張って機会があれば取得しておきたいと思いました。

3つ目は青年部会の皆さんとの意見交換会です。いろいろな意見が出ていましたが、私が印象に残ったのは給料がとても良いということです。また高校で資格をたくさん取得しておく、それが給料に大きく反映されるので高校でどれだけ頑張れることができるのかが大切だと思います。青年部会の皆さんは全員現役だったので、建設業界の生の声を聞くことができ、現状やメリット・デメリットなど多くのことを学び進路についての理解が深まりました。

今回の現場見学では多くのことを学ぶことができ、とても貴重な経験になりました。実際に現場に行くと僕が思っている以上に安全で技術の進歩を感じるとともに、とても働きやすそうだなと思いました。今回学んだ多くのことをこれからの学校生活に生かしていき、より一層専門教科の勉強に一生懸命取り組んでいきたいです。また、今回の現場見学で建設業界の多くの魅力に気づきました。

アンケート結果

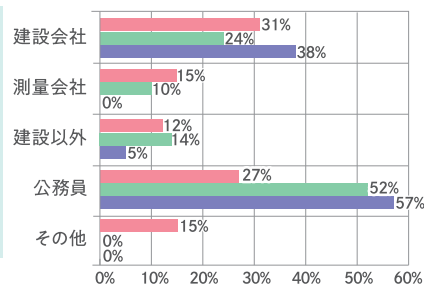
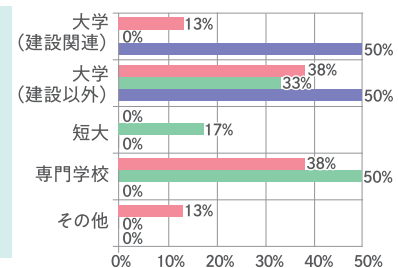
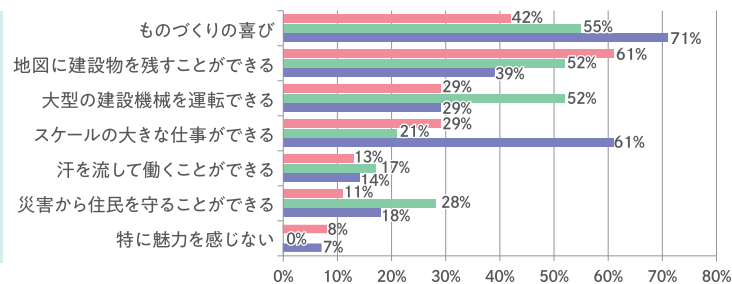
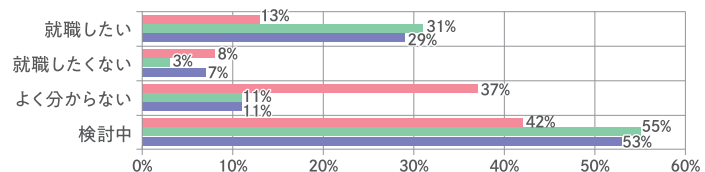
高校卒業後の
進路について
伺います

実施日／対象者

…令和6年10月22日／
見学会参加生徒
38名(出雲農林高等学校38名)

…令和5年10月24日／
見学会参加生徒
29名(出雲農林高等学校28名、出雲西高等学校1名)

…令和4年10月25日／
見学会参加生徒
28名(出雲農林高等学校28名)

就職を
希望した人進学を
希望した人建設業の魅力について
感じるものは
何ですか(複数回答)本日の現場見学に参加して建設業に
就職したいと思いましたが

アンケート結果(まとめ)

今回の次世代建設就業者育成事業では出雲農林高等学校より38名の生徒の皆さんに参加いただきました。青年部会ではこの事業を通じて、建設業の魅力を伝え、関心を持ってもらい、将来の進路に役立ててもらうために事業を実施しました。

アンケートの結果では、多くの生徒が就職を希望しているというデータが出ており、さらに今年度のアンケートでは、ここ数年ではじめて建設会社への就職希望者が公務員希望者を超えています。建設会社と公務員のどちらも働きがいがある中で、建設業ではたらくことのかつこよさややりがい、業界の実態について伝え、生徒の皆様に理解していただき、建設会社への就職という選択肢を作っていただくことが必要だと考えております。

その中で、本事業のように実際の建設現場の見学、また実際に建設業界ではたらく人との意見交換の場は、生徒の皆様に直接建設業の魅力を伝えることができるため、我々にとっても非常に有意義なものになっています。

青年部会としては将来の出雲市内の建設業界がさらに発展するために、様々な事業を継続的に行い、若い世代へ建設業の魅力を伝え続けていきたいと考えております。

次世代建設就業者育成事業(現場見学会)を 実施して感じること(考察)



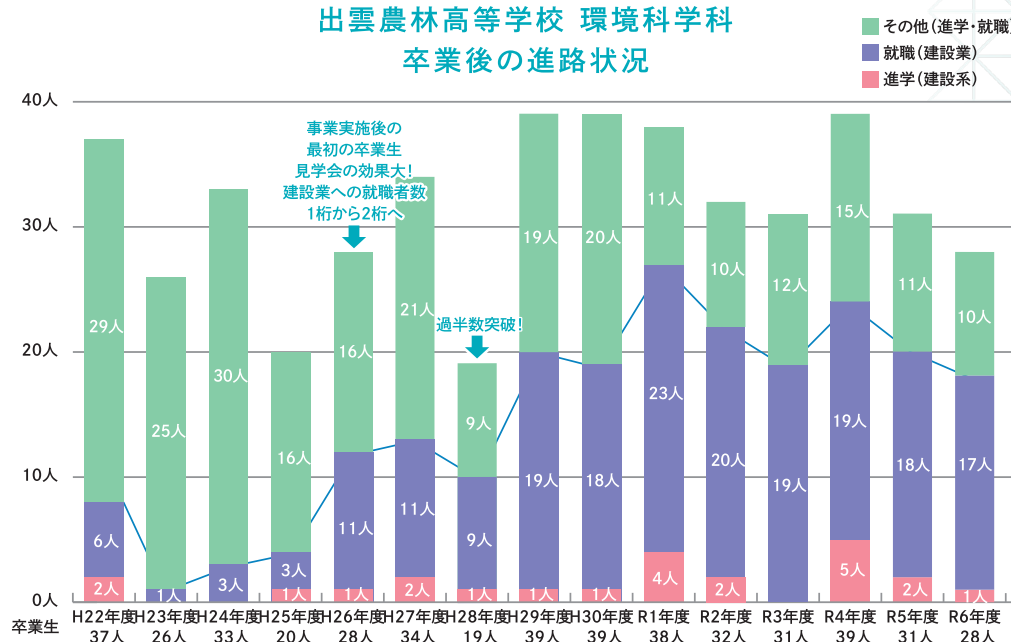
経営研究委員会 委員長
(株)フクダ 福田 佳典

次世代建設就業者育成事業(現場見学会)は、平成25年度の開始から12回目となりました。対象である高校生の卒業後進路の推移をみると、本事業に参加した学年から建設業への就職者数は大幅に増加し、近年も年度ごとにバラつきはあるものの約半数の生徒の方が建設系の進路を取り、本事業を実施する効果が表れているものと存じます。

見学会のプログラムは、施工中の現場に直接訪問して見学し、建設機械に搭乗するという、もしかすると建設従事者の目線では日常的な風景を見せる内容かもしれませんが、高校生の日常生活では触れられない規模感と臨場感があることで、事後アンケートにあるような建設業の魅力を感じ取ってもらえたものと存じます。

先日、青年部会の別の事業での講義で、世代ごとに価値観の差があり平成以降に生まれた世代は自分の「存在意義」を大切にしたい傾向が高い、という話がありました。今回の事後アンケートで建設業の魅力を尋ねた際に、最も回答が多かったのは「地図に建設物を残すことができる」でした。おそらく、地図に残るという言葉が社会的な意義を感じられる選択肢として選ばれた結果なのではないかと感じています。建設業界での担い手確保は特に重要な課題であり、時代に応じた情報や魅力の発信を続ける必要があります。今後も本事業を継続して、建設業の社会貢献や魅力を若い世代に発信して、1人でも多くの若手入職者が増える活動を行っていきたく存じます。

出雲農林高等学校 環境科学科
卒業後の進路状況



出雲農林高等学校(環境科学科)中学生 一日体験入学支援事業



経営研究委員会 委員

(有)山崎組 福島 莉緒

令和6年8月1日(木)に次世代建設就業者育成事業の一環として、出雲市内外の中学生を対象とした島根県立出雲農林高等学校主催の一日体験入学支援事業に、出雲地区建設業協会青年部会として参加しました。

今年度も約60名の中学生にご参加いただき、出雲農林高等学校環境科学科へのPRを行うと共に、建設業の魅力を伝えることや高校卒業後の自身の働く姿を思い描いてもらうことを目的とし実施しています。

当日は天候にも恵まれ、搭乗体験・DVDの視聴・パネルの展示に加え、新たに【ドローンの操作体験】も実施しました。

搭乗体験では、青年部会員がバックホウの操作をレクチャーしました。ウキウキしている生徒、緊張した面持ちの生徒、積極的に質問してくれる生徒などいろんな生徒さんがおられましたが楽しんでいる姿が見えるとこちらも嬉しい気持ちになりました。

中でも本年度から始まった【ドローンの操作体験】は男女問わず人気で、「楽しい〜!」「どこまで飛べるのだろう?」「家に持って帰りたいです!笑」など楽しんでいる様子がとても伝わってきました。

今回で9回目の開催となる支援事業ですが、1人でも多くの若い世代に建設業の良さが伝わることを願って取り組んでいます。出雲農林高等学校との連携を強化させ未来の担い手確保に向け青年部会を中心に活動の幅を広げ、建設業に就職してくれる生徒さんが増えるよう今後とも精進していきます。



第25回 ふるさとまるごとクリーンアップ作戦 ～2024道路清掃～

地域貢献委員会 副委員長

(株)小畑建設 小畑 健治



出雲地区建設業協会青年部会の事業「ふるさとまるごとクリーンアップ作戦」を、映画『仮面ライダーガッチャード ザ・フューチャー・デイブレイク』のロケ地になった出雲ドーム及び周辺道路の清掃を上映開始日に合わせ、令和6年7月26日に実施しました。青年部会会員34名、協力会社6名、さらに今年度はSNSによる当会のPRを目的にMiss Culture International 2024準グランプリ 幸田 美紗さん、よしもと島根県住みます芸人 奥村隼也さんに特別ゲストとして参加いただき合わせて42名で実施しました。

当日は猛暑ではありましたが風があり比較的作業のしやすい環境の中、ドーム敷地内2班、周辺道路2班に分かれ作業を行いました。ドーム敷地内は比較的きれいに保たれていましたが、周辺道路で回収したごみ7kgのうちの大半が缶・ビン・ペットボトルでポイ捨てによるゴミが目立ちました。

事業を通じて参加者はもとより、多くの方に清掃活動を認知していただくことにより、美化に対する意識の向上を図り、地域の方の行動に変化を起こすことができれば、事業を継続してきた意味があると思います。

また、今年度は4年ぶりに定例会を出雲空港ホテルで実施し、幸田さん、協力会社から4名参加いただき28名で盛大に行う事ができ、参加者の親睦を深める事ができました。

最後になりましたが、今回この事業に参加いただきました皆様、大変ありがとうございました。



意見交換会2024

会員交流委員会 委員

(株)今岡興産 日野 肇



令和6年11月7日出雲建設会館で会員交流委員会の担当する《意見交換会2024》を開催し、出雲県土整備事務所から7名と東部県民センター出雲事務所から2名参加いただきました。

今回は以前までの発注者様にご講演いただくスタイルではなく、株式会社島根人材育成の江角様をお招きし、6班にわかれてのグループディスカッション形式で、①【自己紹介と人材に関して今の職場の現状共有】②【人材確保が難しい理由とは?】③【その中でできることとは?】の3つの項目について討論しました。私のグループは出雲県土整備事務所の職員2名と青年部会員4名でしたが、同業他社の数年前から行っている人材育成や人材確保の取組み等について大変参考になり、当社の遅れや私自身の意識の低さを痛感し、当社のオンリーワンを探し出し、その強みを高めていくことができたと感じました。また、出雲県土整備事務所の職員の方も若者の離職率について懸念しておられ、普段の接し方や仕事の教え方などいろいろな意見を聞かせていただきました。最後の各班の発表の場でも様々な意見が挙がり、とても有意義な研修会となったのではないかと思います。

研修会後の意見交換会では、普段から感じている仕事上のことや、業務ではあまり聞けないようなことまで歓談し、楽しい時間を過ごせました。ご参加いただいた皆様がこの経験を持ち帰り、各社の発展ひいては建設業全体の魅力発信につながっていくことを願っております。



「2024土木の日」

～のぞいてみようどぼくのせかい～

地域貢献委員会 委員長
大福工業(株) 福代 忠



令和6年11月16日(土)斐伊川放水路事業記念館にて国土交通省出雲河川事務所、島根県出雲県土整備事務所、出雲市、しまね建設産業イメージアップ女子会の皆様とともに「2024土木の日～のぞいてみようどぼくのせかい～」を開催いたしました。

青年部会では屋内でのドボク模型の展示や、建設業おしごとかるた大会、3Dプリンターデモ、木工細工、屋外ではバックホウ、高所作業車、タイヤローラー、グレーダーの搭乗体験等のブースを担当しました。

当日は曇りではありましたが気温も18℃と暖かく、600人の来場となりました。今年度は新たに「建設業おしごとかるた大会」と「3Dプリンターデモ」を実施しました。

建設業おしごとかるたは子供たちが覚えやすい言葉と印象に残る絵札になっており、参加した子供たちにとっても好評でした。3Dプリンターは3次元模型が完成するまでの流れ、活用方法をパネル説明、完成した模型をならべ、実際に作っている所を見てもらいました。屋外でのバックホウ、高所作業車の搭乗体験は毎年子供たちに大人気で行列ができており2回、3回と体験する子供もいました。タイヤローラー、グレーダーの搭乗体験では普段は間近で見ることができない建設機械に搭乗し、満面の笑みで喜んでいる子供がとても印象に残りました。今回、来場された方々へ建設業の魅力を十分発信できたイベントになったと思います。

建設業の担い手確保は、業界全体の持続可能な発展において極めて重要な課題です。継続的な取り組みが実を結び、数年後、このイベントに参加して建設業に興味を持った子供たちが建設業界に入ってくれることで、建設業界のさらなる発展に繋がると思いました。

最後になりましたが、準備・運営に携わられたすべての皆様、本当にありがとうございました。



しまね建設産業イメージアップ女子会

しまね建設産業
イメージアップ女子会
会長 川井 香織



令和6年11月16日、毎年恒例になる土木の日実行委員会が斐伊川放水路事業記念館で開催された「2024 土木の日～のぞいてみようどぼくのせかい～」に「しまね建設産業イメージアップ女子会」(以下「女子会」)も参加させて頂きました。多くのご来場者の方々に建設女子の魅力を発信出来て、私たち女子会も、貴重な機会を頂きましたことに感謝申し上げる次第です。

当日、私たちはご来場なさった方々に、木材と布を用いたファブリックパネル作りをご案内致しました。世代を問わず色々な方が製作を愉しまれ、出来上がったパネルをお持ち帰りになられました。また、作りながら女子会メンバーの日々の仕事体験談や仕事と私生活の両立について、展示した女子会パネルやカレンダー、女子図鑑(冊子)などを交えながらお話しさせて頂きました。建設女子の活躍する姿や職場内での雰囲気、会社が女性活躍を支援する姿勢に「昔の建設業とは違う」と言われる方もおられました。更に、中には前回に引き続きリピート制作された方もおられ、嬉しさもひとしおでした。

私たち女子会の活動は、広く建設業界で従事される皆様をはじめ、こうした一般の方々のねぎらいや励ましの言葉から元気を頂き、活動を継続する源となっています。

今後も、色々な建設女子活躍支援団体やイクメン、イクボスとの交流を重ね、建設女子パネル展示で一般の方々へ建設女子の活躍をPRして、学生の方やUIターン検討の方々へ就職の相談に応じながら、建設女子の皆さんが充実した日々を送る事を切に願います。

そして、建設女子の活躍は、引いては建設業界全体の活性化につながるものであり、業界の更なる発展のため、建設女子同士の交流や連帯を強めていきたいと思います。



一般社団法人島根県出雲地区建設業協会青年部会

歴代部会長

初代部会長	山本恭則	平成9年度
第2代部会長	今岡裕統	平成10～13年度
第3代部会長	別所幸雄	平成14～15年度
第4代部会長	広戸修	平成16～17年度
第5代部会長	久文秀典	平成18～19年度
第6代部会長	山崎章弘	平成20～21年度
第7代部会長	山口弥	平成22～23年度
第8代部会長	梅野直宏	平成24～27年度
第9代部会長	山崎育男	平成28～29年度
第10代部会長	内藤正和	平成30～31年度
第11代部会長	森山竜人	令和2～3年度
第12代部会長	岩崎利行	令和4～5年度

編集後記

近年収束の気配を見せつつも、所々で息を吹き返したように猛威を振るう新型コロナウイルス。しかし今年こそは前向きに上向きに過ごしていけるようにと祈った矢先に、震度7の大地震が能登半島を襲った元旦から始まった2024年。

ロシアによるウクライナ侵攻は続くどころか北朝鮮も参戦して戦禍は拡大。円安から脱却できぬまま燃料費の高騰が落ち着く気配もなく国の補助金は打ち切れ、様々な物が値上がりの一途をたどる年となってしまいました。

しかしそんな中でも、闇を切り裂く明るい光がアスリート達によって差し込みました。

夏にフランスで行われたパリ五輪にて、日本選手は金メダル20個を含む総数45個のメダル獲得という偉業を成し遂げました。またメジャーリーグでは大谷翔平選手が前人未到の50-50を達成し、まさに日本を照らすスターとなりました。

スポーツ界のスター達に照らしてもらったこの日本で、我々が建設業界も各地域を照らし盛り上げていけるようにより一丸となって協力し合い、来る2025年が皆様にとって明るい年にしていけるよう前を向き未来を見据えた活動を志して参ります。

最後になりましたが、本誌を発行するにあたりご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

総務広報委員会 副委員長
(有)西工務店 西 純平

一般社団法人島根県出雲地区建設業協会青年部会

令和6年度 会員名簿

部会長	
	中筋 元尚
	(株)中筋組 代表取締役社長
	693-0061 出雲市姫原町262

顧問	
	内藤 正和
	(株)内藤組 代表取締役
	693-0001 出雲市今市町257-1

顧問	
	森山 竜人
	(株)もりやま 代表取締役
	693-0733 出雲市大社町菱根1025-1

顧問	
	岩崎 利行
	岩崎建設(株) 代表取締役
	693-0021 出雲市塩冶町1073-1

副部会長	
	柳楽 則昭
	(株)ナギラ建工 代表取締役専務
	699-0903 出雲市多伎町小田66-1

副部会長	
	三原 惇志
	(株)三原組 代表取締役
	693-0506 出雲市佐田町反辺230-3

副部会長	
	嘉藤 雅士
	(株)トガノ建設 総務部 企画係長
	693-0006 出雲市白枝町839-2

運営専務	
	落合 和典
	ヒロシ(株) 営業部 係長
	693-0022 出雲市上塩冶町2453-3

監事	
	江戸 健一郎
	出雲グリーン工業(株) 常務取締役
	693-0051 出雲市小山町787

地域貢献委員会 委員長	
	福代 忠
	大福工業(株) 代表取締役社長
	693-0017 出雲市枝大津町2-7

経営研究委員会 委員長	
	福田 佳典
	(株)フクダ 代表取締役副社長
	699-0551 出雲市斐川町沖州1080

会員交流委員会 委員長	
	福田 哲也
	ヒカワ工業(株) 取締役
	699-0551 出雲市斐川町沖洲922

総務広報委員会 委員長	
	山口 匡史
	山口建設(株) 常務取締役
	691-0011 出雲市国富町797

経営研究委員会 委員	
	佐藤 精一
	(株)佐藤組 代表取締役
	693-0001 出雲市塩冶町1282-36

経営研究委員会 委員	
	川角 宣広
	(株)川角建設 代表取締役
	699-0721 出雲市大社町修理免638-1

地域貢献委員会 委員	
	今岡 宏典 ㈱今岡工務店 取締役 693-0216 出雲市乙立町330

会員交流委員会 委員	
	日野 肇 ㈱今岡興産 土木部次長 693-0104 出雲市稗原町149-4

経営研究委員会 副委員長	
	持田 充 ㈱板倉重機 執行役員 総務部 次長 693-0056 出雲市江田町268-2

総務広報委員会 委員	
	内藤 祐馬 内藤建設工業㈱ 代表取締役社長 693-0011 出雲市大津町585

経営研究委員会 委員	
	神田 泰弘 今岡工業㈱ 営業部長代理 693-0024 出雲市塩冶神前2-8-16

総務広報委員会 委員	
	金築 利和 ㈱スエヨシ建設 取締役 営業部長 693-0054 出雲市浜町1142-1

会員交流委員会 委員	
	石飛 善行 出雲土建㈱ 取締役 693-0033 出雲市知井宮町138-3

経営研究委員会 委員	
	安部 希芳 中国道路整備㈱ 営業部 課長 699-0406 松江市宍道町佐々布100-1

地域貢献委員会 副委員長	
	小畑 健治 ㈱小畑建設 代表取締役 693-0011 出雲市大津町1115-5

総務広報委員会 委員	
	斎藤 貴弘 昭和開発工業㈱ 不動産部店長 691-0015 出雲市西郷町334-1

地域貢献委員会 委員	
	米江 将 ㈱米江組 工事部長 691-0021 出雲市奥宇賀町5-16

総務広報委員会 副委員長	
	西 純平 ㈱西工務店 住宅課 課長 699-0552 出雲市斐川町中洲545

会員交流委員会 副委員長	
	手銭 大輔 ㈱神門組 取締役 営業部長 699-0722 出雲市大社町北荒木129

経営研究委員会 委員	
	福島 莉緒 ㈱山崎組 693-0064 出雲市里方町522-2

新入会員
募集中!!

建設業界の魅力を発信し業界を盛り上げていく仲間を募集しています。
出雲地区建設業協会の会員様で満50歳までの方職種、性別は問いません。

詳しくはこちらまでお問い合わせください
→出雲地区建設業協会青年部会事務局

TEL:0853-21-1187

一般社団法人
島根県出雲地区建設業協会青年部会

〒693-0028 出雲市塩冶善行町2-2
TEL : 0853-21-1187 FAX : 0853-21-2454

青年部会の活動および青雲については
出雲地区ホームページからご覧いただけます。
下記 URL・QRコードより是非ご覧ください。
URL (<https://www.shimakenkyo.or.jp/izumo/>)

